

## 令和5年度事業報告書

### 1, 大阪府「環境農林水産総合研究所」植栽一式

研究所内の老朽化した生垣展示園の樹木の植え替えをすることで、府民・近隣の住民に季節の樹木の緑や花を楽しんで頂けるエリアにした。中低木（ハナミズキ、ヒラドツツジ）、地被類（オタフクナンテン等）を植栽した。 (19,902 千円)

### 2, 大阪府「日本万国博覧会記念公園」植栽一式

万博記念公園のあじさい園は年間4万人の集客があるが、面積規模が小さく、品種が少ない。今回、周辺敷地をあじさい園に組み込み規模を大きくすると共に、多品種のアジサイを植栽し「あじさい見本園」として再整備することで、府民がアジサイを楽しんで鑑賞する場所として整備した。 (2,882 千円)

### 3, 大阪府「長野公園」植栽一式

金剛山麓の5か所に分かれた長野公園は、それぞれがサクラ、モミジ、アジサイなど特徴を持たせた公園になっている。今年度は、春のサクラ、夏のアジサイと、四季の移り変わりが感じられる公園と親しまれている「奥河内さくら公園」、「奥河内あじさい園」の魅力さをさらに向上させるため、サクラ、アジサイの植栽をした。 (4,510 千円)

### 4, 大阪府「泉南府民センター」植栽一式

施設利用者の憩いの空間創出と施設周辺を通行する府民に、緑を感じてもらえる景観を提供するため、府民センター正面に、モクレン等の高木緑化（可動式、ベンチ付きプランター）を行うと併に既存植樹柵にアセビ等の補植を行った。 (7,159 千円)

### 5, 大阪府交野市「天野川緑道」植栽一式

交野市の中央を流れる天野川には、土手を利用したサクラ並木のある緑道並びに複合施設を有する緑地があり、子供からお年寄りまで多くの人が利用している。市民の寄付による「ふるさと創生桜基金」を活用し桜回廊化を進めることで、多くの人が訪れるサクラの名所にしたい。4年計画の3年目。 (9,510 千円)

### 6, 大阪府枚方市「牧野公園」植栽一式

京阪牧野駅の東側に位置する牧野公園の老朽化した桜並木を再生させる。古く平安時代から交野のサクラとして片埜神社を中心として桜に親しまれてきて、隣接する牧野公園も花見の名所として親しまれてきた。3年計画の2年目。 (9,856 千円)

- 7、大阪府東大阪市「花園中央公園」植栽一式  
花園中央公園の新名所として北側丘陵地草地並びに南側草地にモモ、ソメイヨシノ、アヲカシ等  
の植生を行い、桃園を創出し、府民の憩いの場とて整備した。 (21,868 千円)
- 8、大阪府貝塚市「JR 東貝塚駅広場」植栽一式  
JR 東貝塚駅の西側に設置する駅前広場の交通島内に、シンボルツリーとしてのイチ  
ヨウ、その足元にシバザクラを植栽することで、駅前利用者の憩いの場とすると共に、  
周辺を通行する人々にも緑を身近に感じてもらえる景観を作った。 (1,490 千円)
- 9、大阪府熊取町「JR 熊取駅西交通広場」植栽一式  
一昨年のタイサンボクの植栽に続き、JR 熊取駅西交通広場整備工事において、広場  
内歩道に設置する植樹柵にサルスベリを植栽し、交通広場利用者が良質な緑を身近  
に感じられる景観づくりを行った。 (2,640 千円)
- 10、大阪府堺市「大仙公園」植栽一式  
百舌古墳群の中心にある総合公園の催し広場に、「万博の桜」の取り組みとしてサク  
ラ(ジンダイアケボノ)を植え、景観アップを図った。 (2,130 千円)
- 11、大阪府堺市「原池公園」植栽一式  
スポーツレクリエーションの場とて利用されている原池公園内にある野球場周辺に  
「万博の桜」の取り組みとしてサクラ(ジンダイアケボノ)を植え、景観向上を図った。  
(3,680 千円)
- 12、大阪府堺市「荒山公園」植栽一式  
泉北ニュータウンの泉ヶ丘地区に位置する荒山公園の複合遊具広場周辺に「万博の  
桜」の取り組みとしてサクラ(ジンダイアケボノ)を植え、景観の向上を図った。  
(2,050 千円)
- 13、大阪府堺市「浅香山緑道」植栽一式  
旧浅香山浄水場に隣接する浅香山公園と大和川公園を結ぶ浅香山緑道の園路周辺に  
「万博の桜」の取り組みとしてサクラ(ジンダイアケボノ)を植え、景観向上を図った。  
(2,173 千円)
- 14、大阪府貝塚市「せんごくの杜里山」  
せんごくの杜里山はかつてサクラの名所であったが、近年その数が減り見る影もな  
い状態にした。多くの人の目に触れる里山施設の進入路等に「万博の桜」の取組とし  
てサクラを植えることで里山の再生に寄与した。 (3,870 千円)

- 15、大阪府「にぎわいの森事業（桃園）」植栽一式  
大阪府が整備を進めている大阪城港の整備と併せて植樹を行った。今年度は、桃園にハナモモを追加植栽することで、府民が水辺で憩う空間のグレードアップを図った。  
(3,530 千円)
- 16、大阪市「長居公園」植栽一式  
園内の植物園に、新たにサクラを植栽することで、市民が花を愛でることの出来る癒し場所を作った。  
(3,949 千円)
- 17、大阪市「南泉尾公園」植栽一式  
泉尾小学校に隣接する当該公園に現在植栽されている外周樹木が、防球柵の改修工事に伴い撤去した。再び、緑豊かな公園に戻すために撤去後にクチナシ、キンモクセイ等を植栽した。  
(3,168 千円)
- 18、大阪市「万博の桜 2025」植栽一式  
大阪湾の臨港地区の緑地に「万博の桜」の取り組みとしてサクラ(オオシマザクラ)を植え、景観の向上を図った。  
(9,867 千円)
- 19、大阪市「大和川中学校」植栽一式  
ブロック塀を撤去し、ネットフェンスに沿って植樹を行った。ハナミズキ、ジンチヨウゲ、サルスベリ等を植えて花を楽しめるように整備した  
(1,380 千円)
- 20、大阪市「矢田小学校」植栽一式  
ブロック塀を撤去し、ネットフェンスに沿って植樹を行った。アジサイ、ツツジハナミズキ等を植えて花を楽しめるように整備した。  
(1,920 千円)
- 21、大阪市「茨田東小学校」植栽一式  
ブロック塀を撤去し、ネットフェンスに沿って植樹を行った。ソメイヨシノ、ドングリ等を植えて花を楽しめるように整備した。  
(1,209 千円)
- 22、大阪市「大阪公立大学」植栽一式  
大学統合により旧府立大学理学部が杉本キャンパスに移転するため学舎を新築している。この工事に伴い学舎を含む共通教育地区広場の植栽撤去をし、景観に配慮した植栽を新たに行った。高木（クロガネモチ、ヤマザクラ等）、中木（ウスギンモクセイ等）、低木（コクチナシ等）大小合わせて 2,141 本。  
(15,950 千円)

23、大阪市「うめきた 大阪駅北1号線」植栽一式

まち全体がみどりに包まれた「うめきた2期地区」の都市景観にふさわしい道路景観を生み出すため、高規格の街路樹を植栽するとともに、連続植栽帯による緑化を基本とし、豊かな緑を市民に提供する。植栽はケヤキ、ムク。 (17,567 千円)

24、大阪市「うめきた 大阪駅北2号線」植栽一式

まち全体がみどりに包まれた「うめきた2期地区」の都市景観にふさわしい道路景観を生み出すため、高規格の街路樹を植栽するとともに、連続植栽帯による緑化を基本とし、豊かな緑を市民に提供する。植栽はイチョウ、メタセコイヤ。 (20,000 千円)

26、万博「静けさの森」植栽一式

2025年4月開催の大阪・関西万博の会場中心部に整備される「静けさの森」にモミジ、サクラ、エゴノキを第1期工事として約60本植樹した。この森には、府内公園等から移植する樹木も併せて植樹し、総数1,500本の大きな森をつくることで、会場の喧噪の中にあって、ひとときわ静かで落ち着くことが出来る場所をつくる。 (80,000 千円)

<令和4年度遅延分>

27、大阪府「にぎわいの森事業（大阪城港）」植栽一式 (7,590 千円)

28、大阪市「うめきた 大阪1号線、2号線、九条梅田線」 (57,578 千円)

以上総合計 317,428 千円